

令和5年第2回亀岡市議会定例会
令和6年3月議会一般質問

亀岡市議会

令和5年第2回亀岡市議会定例会令和6年3月議会 一般質問順序予定表

| 開催日及び開始予定時間 | | 質問者（会派名） | | 質問方式 |
|-------------|----------|--------------|------------------|------|
| 3月1日（金） | 10:00～ | 代表 | 1 富谷 加都子（公明党議員団） | 一括 |
| | | | 休憩 | |
| | 13:00～ | | 2 竹内 博士（かめおか党） | 一括 |
| | | | 休憩 | |
| | 14:30～ | | 3 小川 克己（新清流会） | 一括 |
| | 16:00～ | | 休憩 | |
| | | 4 平本 英久（経政会） | 一括 | |
| 3月4日（月） | 10:00～ | 代表・個人 | 5 木村 勲（亀岡有志の会） | 一括 |
| | | | 休憩 | |
| | 13:00～ | | 6 大西 陽春（共産党議員団） | 一括 |
| | | | 休憩 | |
| | 14:30～ | | 7 林 徹司 | 一問一答 |
| | 15:15～ | | 8 土岐 新 | 一問一答 |
| | 16:15～ | | 休憩 | |
| | | 9 大石 慶明 | 一問一答 | |
| 3月5日（火） | 10:00～ | 個人 | 10 大塚 建彦 | 一問一答 |
| | 10:45～ | | 11 梅本 靖博 | 一問一答 |
| | | | 休憩 | |
| | 13:00～ | | 12 片山 輝夫 | 一問一答 |
| | 13:45～ | | 13 山本 由美子 | 一問一答 |
| | | | 休憩 | |
| | 14:45～ | | 14 小林 仁 | 一問一答 |
| | 15:30～ | | 15 齊藤 一義 | 一問一答 |
| | 16:30～ | | 休憩 | |
| | | 16 山木 裕也 | 一問一答 | |
| 3月6日（水） | 10:00～ | 個人 | 17 三上 泉 | 一問一答 |
| | 10:45～ | | 18 法貴 隆司 | 一問一答 |
| | | | 休憩 | |
| | 13:00～ | | 19 原野 実生子 | 一問一答 |
| | 13:45～ | | 20 西口 純生 | 一問一答 |
| | | | 休憩 | |
| | 14:45～ | | 21 福井 英昭 | 一問一答 |
| 15:30～ | 22 松山 雅行 | 一問一答 | | |

【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。

令和5年第2回亀岡市議会定例会令和6年3月議会 一般質問通告書

| 番号 | 質問者 質問日時 | 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|----|---|-------------------|--|------------|
| 1 | 富谷加都子 (公明党議員団) 3月1日(金) 10:00~ ※代表質問 (一括) | 1 防災・減災 対策について | <p>近年気候変動の影響により、自然災害が頻発化し予断を許さない状況である。実際、年明けの能登半島地震では甚大な被害が出た。未然の備えに万全はない。さらなる被害を最小限に抑える防災・減災の取組強化が必要である。</p> <p>(1)市民の耐震化に対するさらなる意識向上を図り、制度の活用を促すべきである。</p> <p>①木造住宅耐震診断士派遣事業及び木造住宅耐震改修事業費補助金の概要と直近3年間の利用件数は。</p> <p>②住宅耐震化率の目標と現状の耐震化率は。</p> <p>③京都府が木造住宅の耐震改修に対する補助額を時限的に拡充したが、本市の補助制度は現状維持なのか。</p> <p>本市の木造住宅耐震化促進事業の対象住宅は昭和56年5月31日以前に着工され現に完成しているものとの要件があるが、今回の能登半島地震では平成12年6月の建築基準法改正における最新の基準前に建築された木造住宅も全壊した家屋もあった。</p> <p>(2)時限的にでも、平成12年5月以前に着工した建築物の耐震化を支援すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3)地震への備えとして、家具の転倒防止対策やガラス飛散防止フィルム等は身近にできる最小限の減災と考えるが、周知を強化する考えは。</p> <p>(4)医療的ケア児を抱える家庭から、「福祉避難所の存在は知っているが、発災時に具体的に利用可能な避難所は知らない」との声がある。在宅で医療的ケアをしている方の個別計画作成状況は。</p> <p>(5)人口密集地域である篠地域は国道9号を境に、篠インターチェンジ側は指定避難所が少なく地域防災拠点の手薄である。新たに開発が進む中で、防災公園の指定や地域防災拠点の設置等避難場所の拡充も検討できないか。</p> <p>(6)一人一人が知識を身に付けることで、減災につながる。特に、地域ぐるみでの防災・減災の取組が大切である。市内で積極的な防災・減災の取組を横展開する仕組みはあるのか。</p> <p>(7)他の自治体では、マイ・タイムラインや個別避難計画の作成、防災ヘルプ機能などを搭載した防災アプリを導入して防災・減災の啓発強化をしている。防災アプリを活用する考えは。</p> | 市長 所管部長 |

| | | | | |
|--|--|-----------------------|--|-----------------------------------|
| | | <p>2 障がい者福祉施策について</p> | <p>令和4年12月、障がい者に対する医療や福祉、雇用など各分野の支援を強化する改正障害者総合支援法が成立し、障がい者が生きがいを持って暮らせるよう、当事者の声を反映させた施策が望まれる。</p> <p>(1) 重症心身障がい者（児）や医療的ケア児の高校・特別支援学校卒業後の進路について不安の声があるが現状は。</p> <p>(2) 障がい者（児）が当たり前に出るには、排泄や吸引等の環境整備は必須である。公共施設や駅、病院の多目的トイレにユニバーサルシートの設置を望む声があるが所見は。</p> <p>(3) 高齢化の進展に伴い、京都中部総合医療センターへの透析患者の送迎が大きな課題となっている。せめて市内JR4駅への定期便の配車等を検討できないか。</p> <p>(4) 視覚障がい者の投票支援として、舞鶴市では手作りファイルを活用し記入をサポートする取組が好評である。本市においても環境整備を充実してはと考えるが所見は。</p> | <p>市長 選挙管理委員会委員長 所管部長</p> |
| | | <p>3 子育て支援について</p> | <p>亀岡市は、「子育てしたい、住み続けたいまち」を重点事業の柱に、子どもファースト宣言市としての事業展開を実施している。</p> <p>(1) こども家庭センター設置により、支援を要する子どもとその家庭及び妊産婦に対する支援機能と地域の支援体制について問う。</p> <p>① 従来の子育て世代包括支援センターの体制から強化された機能は何か。</p> <p>② 現時点において、家事・育児サポートの受け皿となる事業所や各種団体の状況は。</p> <p>③ 家事サポートは重層的支援体制の強化にもつながる。対象年齢等の具体的な事業設計は。</p> <p>④ 家や学校以外での子どもの居場所支援として、京都府の子育てにやさしいまちづくりモデル事業交付金を使った計画策定を進める考えは。</p> <p>(2) 政府が創設を目指す「こども誰でも通園制度」について、本市の考えを問う。</p> <p>① 在宅保育の軽減や孤立感の解消に大いに期待するが、一時保育事業との違いは何か。</p> <p>② 京都府で親子通園支援事業をこども誰でも通園制度のモデル事業として打ち出しているが、導入の考えは。</p> <p>③ 今年度の3歳未満の未就園児数は。</p> <p>④ 待機児童の解消と並行して事業に着手するのか。</p> <p>⑤ 事業の本格実施に当たり、保育士の人材確保のほかに課題はあるか。</p> <p>(3) 子どもたちの明るい未来応援事業のさらなる事業展開として、保育園・認定こども園で</p> | <p>市長 所管部長</p> |

| | | | |
|--|--------------------|--|-------------------|
| | | <p>のお昼寝布団のレンタルサービス導入を要望する声があるが所見は。</p> | |
| | 4 DX推進事業について | <p>自治体DXの成功の鍵は、デジタル技術の恩恵から市民が誰も取り残されないよう環境整備に努めることであり、本市でもスマホ教室をはじめ様々な取組を展開している。</p> <p>(1) スマホ教室開催の効果検証として、利用者の意見等を反映できているか。</p> <p>(2) スマートフォン活用推進のため、例えば、地域にデジタル支援員を整備する、コールセンターを設置するなど、従来のスマホ教室を補足する取組の考えは。</p> <p>(3) キャッシュレス決済が普及する中、本市窓口でも、PayPayなどを導入している。今後キャッシュレス決済の種類は、充実させていくのか。</p> | 市長 所管部長 |
| | 5 市道中矢田篠線の安全対策について | <p>市道中矢田篠線は、工業団地開発の影響を受けて特に朝夕の交通量が多く、スピード違反の取締りなど早期の安全対策を要する。</p> <p>(1) 篠町夕日ヶ丘の住宅地から工業団地側へ行くための横断歩道設置の見通しは。</p> <p>(2) 市道中矢田篠線におけるスピード規制のカラー表示や、規制看板設置等の対策の見通しは。</p> <p>(3) スピード違反の減少効果が見込める移動式オービス(自動速度違反取締装置)を活用できないか。</p> | 市長 所管部長 |
| | 6 環境政策情報発信交流拠点について | <p>「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」として自然環境の保全と地域経済の活性化のまちづくりを具現化する各種施策の情報発信・交流拠点が設置される。</p> <p>(1) 環境政策情報発信・交流拠点の竣工予定日は。</p> <p>(2) 環境を切り口に多様な機能を有し、世界に発信する拠点と認識しているが、期待できる機能は。</p> <p>(3) 拠点前の市道保津橋葛原線は保津川下り乗船場につながる道路であるが、踏切手前の市道三宅保津橋線を含む両市道の路肩はポイ捨てごみの常習地であり、環境・景観を損ねている。対策強化の考えは。</p> | 市長 所管部長 |
| | 7 中学校給食について | <p>中学校給食の実施に向け、「亀岡市学校給食検討懇話会」が活発な議論を展開され、結論となる提言書を提出された。</p> <p>(1) 提言を受けて教育委員会としての所見は。</p> <p>(2) 国費で全国一律の給食の無償化を求める声が上がる中、中学校給食の早期実現の期待は大きい。最終的に、実施方式の選定が関門である。どの方式も一長一短がある中、専門的</p> | 市長 教育長 所管部長 |

| | | | | |
|---|--|----------------|---|-------------------|
| | | | 見地を参考にし、今年度には方向性を決定できるのか。 | |
| 2 | 竹内 博士 (かめおか党) 3月1日(金) 13:00~ ※代表質問 (一括) | 1 防災対策について | 防災対策について問う。 (1)もし本市で能登半島地震と同規模の地震が発生した場合、どのような被害が想定されるのか。 (2)能登半島地震同様に孤立集落が市内各所に発生することが想定されるが、それを見越しての備蓄対策はできているのか。 (3)情報通信が途絶えた場合の連絡手段は。 (4)本市でも2月14日、15日の2度にわたり地震が発生した。以前も群発地震が発生したことから、市内の活断層の現状を把握し、市民に共有する必要性を感じるが所見は。 | 市長 所管部長 |
| | | 2 道路施設の整備について | 道路施設の整備について問う。 (1)市道における道路修繕の要望が多くある中で、令和6年度当初予算にすべて反映できているのか。 (2)「亀岡市通学路交通安全対策プログラム」における点検や対策の進捗状況は。 (3)「国道9号ダブルルート整備促進協議会」における国への要望活動などの進捗状況は。また、防災の観点から、今こそさらに働きかけていくときとを感じるが所見は。 (4)「国道372号」「国道423号」「国道477号」の整備促進を強化する必要がある中で、築造工事や文化財調査、用地買収、大阪府への働きかけなどの現状と今後の見通しは。 | 市長 教育長 所管部長 |
| | | 3 移動手段について | 移動手段について問う。 (1)高齢者の移動手段についてどのように考え、取り組んでいるのか。 (2)地域主体型交通の課題として、運転手不足があるが、今後の対策は。 | 市長 所管部長 |
| | | 4 障がい児通学支援について | 障がい児通学支援について問う。 (1)亀岡市においては「公平性に欠ける」との理由で実施しないと聞いているが、今後の可能性は。 | 市長 所管部長 |
| | | 5 移動販売について | 移動販売について問う。 (1)本市では生活支援体制整備事業を通じて、高齢者のための移動販売などの情報収集を行っているが、具体的にどのようなニーズや要望があるのか。また、その対策は。 (2)下矢田町君塚団地地内で民間事業者とタッグで移動販売の実験が数回行われたと聞くが、民間とも連携し、より広域にその取組を加速させることはできないのか。 | 市長 所管部長 |

| | | | | |
|--|--|--------------------------|---|----------------------------|
| | | <p>6 民生委員について</p> | <p>民生委員について問う。</p> <p>(1) 民生委員の高齢化や後継不足が深刻化しているが現状は。</p> <p>(2) 保津川団地では2人欠員と聞くが対策は。</p> <p>(3) 他市では会議時間を夜間にするなど、大学と連携して若い世代を取り込む動きがある中で、本市においても独自の考え方で早急に対応すべきと考えるが所見は。</p> | <p>市長 所管部長</p> |
| | | <p>7 農業支援について</p> | <p>農業支援について問う。</p> <p>(1) 給食への有機野菜の導入も行われるが、現在、子どもたちが有機農業について学ぶ機会はあるのか。</p> <p>(2) 新たに亀岡オーガニック農業スクールが開校されたが、その応募状況は。また、プログラムを通して、卒業後に就農に結びつけるための流れは作られているのか。</p> <p>(3) 令和6年度当初予算の中に継続項目として「地域担い手応援事業」が計上されているが、3年間当初予算額が変わっていない。拡充すべきと考えるが所見は。</p> <p>(4) 「地域担い手応援事業」の応募条件に達しない農業者が多くいると聞くが支援策はないのか。</p> | <p>市長 教育長 所管部長</p> |
| | | <p>8 子育て支援について</p> | <p>子育て支援について問う。</p> <p>(1) 市立保育所等の待機児童を減らすには、保育士を増やすことが不可欠であるが、その対策は。また、保育士の処遇改善や働きやすい環境づくりが求められるが所見は。</p> <p>(2) 保育士から「保護者対応などが大変」との声がある中で、そういった専門家の配置やスキル研修の導入などの考えは。</p> <p>(3) 子育て家庭の転入が多い千代川町明晴地区などにおいて、子育て情報が届かない、届いたとしても行動につながらない現状がある。以前、本市では「出張育児相談」を行っていたが、今後、情報提供強化エリアを決めて集中的に実施する必要性を感じるが所見は。</p> | <p>市長 所管部長</p> |
| | | <p>9 駅南と城下町のにぎわいについて</p> | <p>J R 亀岡駅南と城下町のにぎわい創出について問う。</p> <p>(1) 今後、J R 亀岡駅南側の開発やにぎわいづくりをどのように進めていくのか。</p> <p>(2) 城下町のにぎわいづくりも考える必要があり、数年前に実施された「謎解き宝探しゲーム」について、入り込み客数や効果などはどうか。</p> <p>(3) 中止になった理由は何か。また、再び実施してほしいとの声もある中で、再開の可能性はあるのか。</p> <p>(4) 城跡見学は今でも人気であり、宗教法人大本と商店街がさらにタッグを組み、城下町一</p> | <p>市長 所管部長</p> |

| | | | | |
|---|--|---------------|--|-------------------|
| | | | <p>体を盛り上げ、機運を高めていく必要があると考えるが所見は。</p> <p>(5) 健康志向が高まる中、城下町のにぎわいづくりの一環で、ウォーキングコースを城下町内に設けることや南郷公園内に大人向けの健康遊具を設置するなど、サンガスタジアム by KYOCERAと城下町を結んでの「健康・歴史エリア」構想はどうか。</p> | |
| 3 | <p>小川 克己 (新清流会) 3月1日(金) 14:30~</p> <p>※代表質問 (一括)</p> | 1 市長の政治姿勢について | <p>「亀岡新ビジョン」を掲げ就任された桂川市政3期目スタートにあたり、「選ばれるまち 住み続けたいまち」の実現に向け、市長の政治姿勢について問う。</p> <p>(1) 令和6年度一般会計の当初予算は前年度比9.1%増の総額426億9,600万円である。予算編成にかけた市長の思いは。</p> <p>(2) 令和6年度以降の市債発行額と財政調整基金の見通しは。</p> <p>(3) 今後の安定した市税財源確保についてのビジョンは。</p> <p>(4) 未来への101の政策を推し進める中、地方自治法の改正により努力義務化された内部統制についての所見は。</p> <p>(5) 子どもファースト宣言により『京都府内No.1の子育てを応援するまち』として注目を浴びてきた。</p> <p>①本市における待機児童の現状はどうか。</p> <p>②保育士の人材確保についての所見は。</p> <p>③保育士宿舍借り上げ支援事業について所見は。</p> <p>(6) 『「人生100年時代」誰もが健康で幸せに』暮らせるまちを目指している。</p> <p>①がん患者のアピアランスケア助成事業の創設について、具体的にどのような取組をしていくのか。</p> <p>②障がい者雇用促進の考えは。</p> <p>③精神患者のセラピーとDV等の様々な課題を持つ方への重層的支援施策の方向性は。</p> <p>(7) 『亀岡新時代へ 次なる未来への飛躍』を目指している。全国より「選ばれるまち」となってきたことは確かで高く評価する。</p> <p>①4月には本市において「ももクロ春の一大事」開催が決定した。会場までの移動手段、安全対策の進捗は。また、経済効果の見込みは。</p> <p>②令和8年度に開催が決定した「全国都市緑化フェア in 京都丹波」に向け、令和6年度から取り組んでいく公園整備やトイレ整備、今後のスケジュール、会場をめぐる移動手段等の考えは。</p> <p>③サンガスタジアム by KYOCERAを活用し音楽イベントやコスプレイベントを誘致する考えは。</p> | 市長 教育長 所管部長 |

| | | | | |
|---|---|---|--|---------------------------------------|
| | | <p>2 川の駅・亀岡水辺公園について</p> <p>3 入札・契約事務効率化について</p> | <p>④かめおか霧の芸術祭を未来への飛躍にどのようにつなげていくのか。</p> <p>川の駅・亀岡水辺公園は、水辺のアクティビティを楽しめる施設として開設され、保津川遊船企業組合により指定管理運営がされている。令和6年度より夜間キャンプ利用が可能にもなり、より機能が充実されると聞く。</p> <p>(1) そもそもこの施設は、何のために、また、どのような目的で建てられたのか。</p> <p>(2) 川のアクティビティ充実の考えは。</p> <p>(3) 今後の活用について、地元千代川町と協議し、西部地域、川東エリア等の観光資源を活用しつつ、関係団体とも連携し、魅力ある場所として創造していくべきと思うが所見は。</p> <p>(4) 月読橋グラウンドトイレの整備は完了したが、今後、左岸河川敷の整備計画はあるのか。</p> <p>競争入札について、入札から契約を締結するまでに、事業者は数回市役所に足を運んでいると聞く。入札に必要な書類の受領、入札への参加、落札後の契約書の受取りと押印後の持参、市長印押印後の契約書の受領など何度も市役所に行くことになっている。</p> <p>(1) 契約は、公平公正な事務を図ることは大前提ではあるが、事業者にもう少し考慮した事務改善はできないのか。</p> <p>(2) デジタル化業務を推進している本市において、工事事業者などが建設工事に係る金額の記載された設計書の開示請求を申請するために市役所に行き、書類ができるとまた取りに行くことになっているが、ペーパーレス化を図るなど、事務改善はできないのか。</p> | <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> |
| 4 | <p>平本 英久 (経政会) 3月1日(金) 16:00~</p> <p>※代表質問 (一括)</p> | <p>1 市長の政治姿勢について</p> | <p>企業誘致やふるさと納税の拡充等に積極的に取り組んできたことにより、近年の市税収入増につながったものと確信するところである。また、数々のイベント等を通じて、にぎわいの創出や交流人口増に一定の成果が出たと考えるが、これまでの安定的かつ攻めの市政運営はもとより、今後は、災害等に備えて市民の安全・安心をいかに担保するかも大変重要と考える。第3期桂川市政の目指す「亀岡新時代ビジョン」について問う。</p> <p>(1) 篠インターチェンジ周辺や亀岡インターチェンジ周辺において積極的な企業誘致や産業立地基盤の整備を行なってきたが、今後の企業誘致の見通しと基盤整備の展望は。</p> <p>(2) 篠町篠企業団地土地区画整理事業地の西隣地の整備計画の進捗状況と、同工業企業団地の開発に伴う市道中矢田篠線沿線の交通安全対策についての考えは。</p> <p>(3) ふるさと力向上寄附金について、これまで</p> | <p>市長</p> |

| | | | |
|--|--------------------|--|------------|
| | | <p>の成果と今後の展望は。</p> <p>(4) 地方自治体と協働してまちおこしを目指すアイドルグループ「ももいろクローバーZ」による「ももクロ春の一大事2024 in 亀岡市」の開催で、本市の地域経済発展や観光客誘致にどのようにつなげるのか。</p> <p>(5) 駅前のにぎわい創出は大変重要であり、地域経済活性の見地から亀岡駅南も同様である。とりわけ旧西友跡地の活用は多くの市民の関心事であるが本市の所見は。</p> <p>(6) あらゆる自然災害に備える事は喫緊の課題であり、いかに市民の生命財産を守るかは大変重要である。市長の目指す災害に備えた強いまちづくりとはどのようなものであるのか。</p> | |
| | 2 災害対策について | <p>頻発する地震並びに自然災害に備えたさらなる災害対応や対策の充実について問う。</p> <p>(1) 発災後、本市としての支援並びに受援体制の整備についての考えは。</p> <p>(2) 震災等による断水は、すなわちライフラインの寸断であり生活維持の根幹であると考えるが、本市としての対策は。また、能登半島地震における現状と対策は。</p> <p>(3) 車中避難所「Car Shelter 野水(仮称)」並びに指定緊急避難場所である亀岡運動公園体育館等の整備についての考えは。</p> <p>(4) 福祉避難所の必要性や在宅避難への支援の在り方について本市の考えは。</p> <p>(5) 災害により発生した災害廃棄物の取り扱いについての対策は。</p> <p>(6) 罹災証明の発行手続や被災者の法的な相談対応はどのように行うのか。</p> | 市長 所管部長 |
| | 3 外国資本等による土地購入について | <p>森林の保全は、地球温暖化の防止をはじめ水源の涵養や土砂災害の防止など多面的な観点からも大変重要と考えるが、多くの山林に囲まれた本市の森林保全と環境維持について問う。</p> <p>(1) 外国資本等による本市の土地購入についての実態や現状は把握しているのか。</p> <p>(2) 重点森林水源保全地区の指定に向け積極的に京都府と協調する考えは無いのか。</p> | 市長 所管部長 |
| | 4 環境先進都市としての展望について | <p>環境先進都市を目指す本市として、ごみの再資源化やごみの分別拡大等に積極的に取り組んできたが、今後の新たな環境政策について問う。</p> <p>(1) 環境政策情報発信・交流拠点施設の整備の進捗や役割についての考えは。</p> <p>(2) これまでも研究してきた使用済み紙おむつの再資源化について、どのように進めていくのか。</p> <p>(3) 本市としてこれまで取り組んできた再商品化によるプラスチック類の資源循環推進事</p> | 市長 所管部長 |

| | | | | |
|---|---|---|--|--|
| | | <p>5 安全・安心のまちづくりについて</p> <p>6 子どもファースト推進について</p> <p>7 花火大会の開催について</p> | <p>業であるが、今後の展開は。</p> <p>これまで市民の安全・安心につながるまちづくりや、誰一人取り残さないという観点から様々な取り組みしてきた本市であるが、安全な道路行政や高齢化に伴う移動手段の確保について問う。</p> <p>(1) 篠町内における都市計画道路馬堀停車場篠線の事業進捗と整備計画の考えは。</p> <p>(2) 西つつじヶ丘美山台内における、市道つつじヶ丘87号線の道路改修工事後の現状と今後のバス乗り入れに向けた考えは。</p> <p>子どもファースト宣言に基づき、これまで子育て支援の拡充や子どもたちが未来に希望を持ち生き生き暮らせる環境の整備などを行ってきたが、今後の本市の取組について問う。</p> <p>(1) サンガスタジアムbyKYOCERA内に常設されている木育ひろばKIRINOのKの利用状況と課題は。</p> <p>(2) 待機児童の解消に向けた市立幼稚園の認定こども園化並びに保育士確保に向けた奨学金返還支援に、どのような成果を考えているのか。</p> <p>(3) かめおか児童クラブ事業の利用状況並びに利用者の反応は。</p> <p>(4) 食育の観点からも学校給食の充実は子どもたちにとって大変重要である。今後の展開は。</p> <p>(5) 子どものいじめは全国的にも問題となっているが、本市の現状と対策は。</p> <p>平和を願うとともに本市のにぎわい創出に向け開催している亀岡平和祭保津川市民花火大会は、昨年同様に市民に喜ばれ安全に開催されることが第一である。そこで、令和6年の開催計画について問う。</p> <p>(1) 亀岡平和祭保津川市民花火大会の実施に向けて、昨年大会の検証は行ったのか。</p> <p>(2) 昨年の開催ではどのような課題があったのか。</p> <p>(3) 今年の花火大会の実施概要並びに改善策はどのようなものであるのか。</p> | <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> |
| 5 | <p>木村 勲 (亀岡有志の会) 3月4日(月) 10:00~</p> <p>※代表質問 (一括)</p> | <p>1 令和6年度予算編成について</p> | <p>令和3年から始まった第5次亀岡市総合計画「人と時代に選ばれるリーディングシティ亀岡」の計画期間4年目を迎えるにあたり、令和6年度予算について問う。</p> <p>(1) 令和6年度の一般会計予算は、過去最高額であった昨年度当初予算の9.1%増となっているが、増額のポイントと今後の財源、財政の見通しは。</p> <p>(2) 令和5年度のふるさと力向上寄附金は、1</p> | <p>市長 所管部長</p> |

| | | | |
|--|--------------------|--|-------------------|
| | | <p>月末時点で40億円を上回り、過去最高額となっている。今後、さらなる増額に向けた方策はあるのか。</p> <p>(3) ふるさと力向上寄附金50億円を目指し、それを財源として学校給食を無償化する考えは。</p> <p>(4) 今後、ガレリアかめおかは、どのように長寿命化していくのか。また、大広間とホワイエ改修の進捗状況は。</p> | |
| | 2 育親学園校舎建設について | <p>今年4月に開校し、令和8年度に新校舎が供用開始される育親学園の校舎建設について問う。</p> <p>(1) 新校舎に、地元の木材を使用する構想はあるのか。</p> <p>(2) 建設業務を地元の業者へ積極的に発注する考えはあるのか。</p> <p>(3) プールは、既存の小学校の施設を活用することであるが、将来的な構想はあるのか。</p> <p>(4) 高台の校舎まで小学校の低学年でも無理なく上れる階段を設置する考えは。</p> <p>(5) 災害時の避難場所として、マンホールトイレを設置する考えは。</p> | 市長 教育長 所管部長 |
| | 3 地震災害時等の損害の鑑定について | <p>1月の能登半島地震による災害認定について、多くの損害保険会社の鑑定人が調査を行っている。</p> <p>(1) 保険会社と自治体が提携して罹災証明書を発行するためには、どのようなことが問題になるのか。</p> <p>(2) 鑑定人が作成した鑑定書を資料として、契約者(市民)に罹災証明書を発行することはできないか。また、罹災証明書発行の基準は。</p> | 市長 所管部長 |
| | 4 消防団の活動支援について | <p>安全・安心なまちづくり「セーフコミュニティ」のパイオニアである亀岡市として、消防団活動について問う。</p> <p>(1) 来年度、消防団員の報酬額と訓練出動の報酬額は、どのように変わるのか。</p> <p>(2) トイレや上下水道が整備されていない屯所や老朽化している屯所を新設する考えは。</p> | 市長 所管部長 |
| | 5 道路行政について | <p>道路行政について問う。</p> <p>(1) 市道城山医王谷中山線、市道並河蚊又線の整備状況は。</p> <p>(2) 国営緊急農地再編整備事業桂川西工区に伴う市道荒内上溝線の整備状況は。</p> <p>(3) 国道9号からカインズ亀岡店東側への進入口の整備状況は。</p> <p>(4) 国道423号の明智の戻り岩北側付近に霧の展望台を建設して、亀岡の特産品の即売所を建設してはどうか。</p> <p>(5) 国道9号ダブルルートの早期実現が望まれ</p> | 市長 所管部長 |

| | | | | |
|---|--|--|---|--|
| | | <p>6 農林センターの跡地利用について</p> <p>7 環境政策について</p> <p>8 農業・林業の支援について</p> | <p>るが進捗状況は。</p> <p>(6) 国道9号若宮橋から余部交差点まで歩道を設置する考えは。</p> <p>京都府は、亀岡市内にある京都府農林水産技術センターを綾部市内にある畜産センター敷地内に移転すると発表した。そこで京都府農林水産技術センターの跡地利用について問う。</p> <p>(1) 京都府はスポーツ&ウェルネスとフードテックの構想があると聞かすが、京都サンガF.C.の練習場を亀岡市に建設してはどうか。</p> <p>(2) 文化ホールを建設してはどうか。</p> <p>(3) 亀岡市に貢献するためには、どのような跡地利用をするべきなのか。</p> <p>世界に誇れる環境先進都市として、亀岡三大観光である保津川下りの環境保全について問う。</p> <p>(1) 保津川環境条例を制定する考えは。</p> <p>(2) ごみの不法投棄対策は。</p> <p>ふるさと力向上寄附金の返礼品である、京野菜の振興と農地の保全、亀岡市の名水をつくる山の保全について問う。</p> <p>(1) 日本各地で、森林資源や農地が外国資本に買収される事案があると聞かすが、本市の状況は。</p> <p>(2) 有機野菜などを使用した学校給食の状況は。</p> <p>(3) オープンイノベーションセンター・亀岡のスマートアグリハウスと農家を連携させる構想はあるのか。</p> <p>(4) 第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波が令和8年秋に開催することが決定したが、亀岡水辺保津川公園の周辺整備と亀岡運動公園リニューアルの構想はあるのか。</p> | <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> |
| 6 | <p>大西 陽春 (共産党議員団) 3月4日(月) 13:00~</p> <p>※代表質問 (一括)</p> | 1 市長の政治姿勢について | <p>コロナやインフルエンザ等の感染症の拡大と終わりの見えない物価高騰で、市民の暮らしは大変厳しい状況にある。特に、子育て世代や高齢者の生活が困難である。市民は、確定申告の時期を迎え僅かな控除を受けるために細かな書類作成をしている。一方で、政治資金パーティー券収入の収支報告書不記載やパーティー券販売が裏金づくりに当てられた疑惑が大問題となっている。</p> <p>(1) 政治資金パーティー券収入の収支報告書不記載やパーティー券販売による裏金づくりについて、市長の所見は。</p> <p>(2) パーティー券購入を含む企業・団体献金は全面禁止をするべきではないか。</p> <p>(3) 市民の「暮らしが大変」という実感に対し、市民の暮らしや営業の状況をどのように把握しているのか。</p> | 市長 |

| | | | | |
|--|--|------------------------------------|--|--------------------|
| | | <p>2 健康保険証 廃止後の対応に ついて</p> | <p>高齢者や障がい者を支援する施策について問 う。</p> <p>(4) 令和5年12月議会では、「物価高騰に見 合う年金の支給を求める請願」が出されたが 「審議が足りない」「熟慮したい」「時期尚 早」と請願も意見書も国に上げることができ なかった。「年金だけでは暮らしが大変」と の市民の声に対する市長の所見は。</p> <p>(5) 高齢者や障がい者に対する負担軽減や新た な給付金などの支援策を充実させるべきで はないか。</p> <p>(6) 「加齢性難聴者の補聴器購入に係る公的支 援制度の創設を求める意見書」が令和5年6 月議会において全会一致で可決した。現在、 国の制度がない中で、市民は一日も早く市独 自の購入費補助を求めている。補助制度をつ くるべきではないか。</p> <p>亀岡市は「環境先進都市」を打ち出し、203 0年までに「使い捨てプラスチックごみゼロのま ちを目指す」と宣言した。環境施策について問う。</p> <p>(7) 「使い捨てプラスチックごみゼロのまち」 を目指す亀岡市として、身の回りにはまだた くさんのプラスチック製品があり、それに頼 った生活をしているのが現実である。亀岡市 としてどのように対応するのか。</p> <p>(8) 「新たな埋立処分場は作らない」計画であ るが、資源化できないごみについては、どの ような方法で対処するのか。</p> <p>(9) 市内の山間エリアに、リサイクル工場や残 土を持ち込んでいる状況がある。環境先進都 市として、周囲の環境汚染防止や住民への安 全の監視は十分できているのか。</p> <p>国は多くの国民や医療関係者の不安、反対を押 し切って令和6年12月2日をもって「健康保険 証」を廃止し、マイナンバーカードへの一体化を 進めている。いつでもどこでも安心して医療が受 けられる「国民皆保険」であるためには、健康保 険証を存続させることが重要と考える。</p> <p>(1) 厚生労働省は「マイナ保険証利用率は、国 家公務員でも4.36%（令和5年11月） である。」と発表した。このような状況の中 で、国に対して、現在の健康保険証の存続を 求める意見書を上げるべきではないか。</p> <p>(2) 「健康保険証」と「資格確認証」について 問う。</p> <p>①令和6年4月1日に亀岡市が発行する「健康 保険証」はいつまで有効か。</p> <p>②「資格確認証」は誰に発行され、申請は必要 となるのか。</p> <p>③国は資格確認証の有効期限を最大5年で保 険者が決めるとしているが、亀岡市は資格確 認証の有効期限をどのように設定する予定</p> | <p>市長 所管部長</p> |
|--|--|------------------------------------|--|--------------------|

| | | | | |
|--|--|--------------------------|---|----------------------------|
| | | <p>3 学校給食について</p> | <p>か。 ④資格確認証の有効期限が終了したときには申請が必要となるのか。 (3) 後期高齢者の受療権について問う。 京都府後期高齢者医療広域連合の対応に委ねるのではなく、亀岡市民である後期高齢者の受療権を守る責任があるのではないか。</p> <p>昨年12月27日に亀岡市学校給食検討懇話会から「亀岡市の学校給食のあり方について提言書」が教育委員会に出された。 (1) 提言では、「学校給食法」及び「食育基本法」にうたわれる「食育の重要性」は委員が共通に認識するところであると書かれている。市長は「食育」を学校給食の中でどのように実現しようとしているのか。 (2) 子どもファースト宣言やオーガニックビレッジ宣言をした亀岡市らしさを生かした学校給食の実現について、どのように考えているのか。 (3) 「食育」と「亀岡らしさ」を生かした学校給食の実現として、自校給食に近い形で実現することが有効であると考えているが、市長の所見は。</p> | <p>市長 教育長 所管部長</p> |
| | | <p>4 介護が必要などきの施策について</p> | <p>誰もが安心して介護を受けられる制度が求められている。本市が進める第9期介護保険事業計画の介護保険制度について問う。 (1) 亀岡市の介護認定率が府下平均に比べて低い状態が続いているが、その原因をどのように考えているのか。 (2) 亀岡市の所得段階別保険料を16段階に設定し、保険料は値上げとなるが、低く抑える方法はないのか。 (3) 介護保険利用者にとって介護サービス利用料は重い負担となっており、必要なサービスを利用できない市民が多く存在する。準備金を活用して利用料負担軽減ができないか。 (4) 介護の中でも認知症に伴う介護の困難さが把握されていたが、認知症の予防や認知症の人の介護をする家族への支援として、市の独自施策はあるのか。 (5) 災害による介護保険料及び介護サービス利用料の負担額の減免制度は、本市で行われているのか。また、対象者はこれまでにあるのか。 身体障害者手帳などの交付を受けていなくても、65歳以上の人で、介護保険の要介護認定を受け、所定の条件を満たす場合の、所得税等における障害者控除の制度について問う。 (6) 申請者数の過去5年間の推移は。 (7) 令和5年12月議会で、個別案内を送ることとは対象とならない人の誤解を招くとの答</p> | <p>市長 所管部長</p> |

| | | | | |
|---|---|--|---|---|
| | | 5 障がい者福祉について | <p>弁であったが、京丹後市は可能性のある対象者に個別案内を送付しており、混乱はないと聞く。本市も同様に個別案内ができないか。</p> <p>国の制度である「特別障害者手当」について問う。</p> <p>(1) 申請窓口は市区町村であるが、本市で申請の広報は行っているのか。</p> <p>(2) 申請者数の過去5年間の推移は。</p> <p>(3) 制度の認知度は現在十分であると考えているのか。</p> | 市長 所管部長 |
| 7 | <p>林 徹司 3月4日(月) 14:30~</p> <p>※一問一答</p> | <p>1 地域の安全安心整備について</p> <p>2 医療・介護提供体制の拡充について</p> <p>3 産業振興について</p> | <p>元日に起きた能登半島地震は大きな被害をもたらした。インフラ整備の強靱化がいかに重要であるかを一層感じる事となった。</p> <p>(1) 本市の上水道管をはじめとするすべての水道施設について、大地震に対する対策は。</p> <p>(2) 今後、上下水道事業で備えが必要であると思われる地域とその対策は。</p> <p>(3) 本市の木造住宅耐震改修事業費補助金において、代理受領制度を採用してはどうか。</p> <p>(4) 避難場所となる小・中学校のグラウンド横のトイレの整備状況は。</p> <p>(5) ペットの同行避難対策やそのガイドラインなどの進捗状況は。</p> <p>(6) 救命救急の総司令部が福知山市に設置されると聞いたがどういった状況か。</p> <p>本市内において、地元医師会や医療機関、介護施設、事業所の協力を仰いでいるものの、多様な医療の全てに対応し完結することは難しく、近隣市町の医療機関と連携協力した医療提供体制を強化拡充することが、市民福祉の増進に貢献できるのではないかと考える。</p> <p>(1) 令和6年度診療報酬改定に基づき、高齢者の急性疾患対応や、働き方改革も踏まえた救急患者の下り搬送の評価など新たな方向性は。</p> <p>(2) 再来や精算、マイナンバーカードに係る機器操作のサポートに院内案内係としてボランティアを採用してはどうか。</p> <p>(3) 現在、亀岡市内では心臓カテーテル手術及び心臓外科手術は受けられないため、京都中部総合医療センターとの連携はもちろんのこと、京都市方面では近距離となる京都桂病院や三菱京都病院と小児科・周産期医療を併せた医療連携協定等を締結してはどうか。</p> <p>(4) 看護師募集がほかより遅く、新卒者が他市町に就職している状況はないか。</p> <p>これからのにぎわいあるまちづくりにおいて産業や商工観光振興は重要である。</p> | <p>市長 所管部長</p> <p>病院事業管理者 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> |

| | | | | |
|---|---|---|--|--|
| | | | <p>(1) かめおか共創支援プロジェクトは、どのように進めていくのか。</p> <p>(2) 事業の具体的な取組内容は。</p> <p>(3) 京都府が脱炭素行動促進事業を創設したが、本市としての取組はどうか。</p> <p>(4) 京都府において、多様な担い手確保支援事業が創設され、農業のみならず、建設業や観光業など幅広い支援が実施される場所であるが、特に建設業における人手不足を見越した取組を市として実施する考えは。</p> | |
| 8 | <p>土岐 新 3月4日(月) 15:15~</p> <p>※一問一答</p> | <p>1 通学路の安全対策について</p> <p>2 地方再犯防止推進計画について</p> <p>3 桜塚クリーンセンターについて</p> | <p>小・中学校の通学路にもなっている府道王子並河線は、交通量が多い上道幅も狭く、非常に危険であると不安の声を多く聞く。</p> <p>(1) 子どもたちが安心して通学できるように、道幅が狭く危険な箇所でのどのような安全対策を行っているのか。</p> <p>(2) 子どもたちの安全・安心のためにも、府道王子並河線の交通量や速度測定等の調査を実施してはどうか。</p> <p>(3) 危険な箇所の通学路を見直し変更する考えは。</p> <p>(4) 府道王子並河線の制限速度を時速30キロメートルまでに変更すべきと考えるが所見は。</p> <p>刑法犯の検挙人数が全国的に減少している中で、再犯検挙者の割合は増加傾向にあると見受けられる。本市においては、社会を明るくする運動やセーフコミュニティの活動など、犯罪のない安全で安心なまちづくりに向けた取組を推進しているところである。</p> <p>(1) 本市での直近3年の刑法犯の検挙数は。</p> <p>(2) 本市での直近3年の刑法犯の再犯検挙数は。</p> <p>(3) 本市が行っている犯罪防止に向けた対策は。</p> <p>(4) 本市における保護司の人数は。</p> <p>(5) 犯罪等をした人が、円滑に社会に復帰するための支援策や取組は。</p> <p>(6) 更生保護へ向けて地方再犯防止推進計画を策定する考えは。</p> <p>桜塚クリーンセンターの現況と今後の計画について問う。</p> <p>(1) 桜塚クリーンセンターの稼働状況と課題は。</p> <p>(2) 今後の改修計画は。</p> <p>(3) 本市の先進的なごみ減量化・削減の取組や少子高齢化による人口減少などにより、可燃ごみの減少が予想される。将来的には施設運営面を鑑み、近隣市町との広域展開も必要になってくると考えるが所見は。</p> | <p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> |

| | | | | |
|---|---|-----------------|---|-------------------|
| | | 4 教育環境について | <p>近年、いじめ問題や不登校児童生徒の増加など教育を取り巻く様々な課題、また学校施設の老朽化や維持管理等に対し、本市教育委員会や教職員の方々には日々尽力いただいているところである。市内の小・中・義務教育学校における施策や取組について問う。</p> <p>(1) 校舎等の老朽化を受けて計画的に改修工事が行われているが、その進捗状況は。</p> <p>(2) 昨今の教育環境を鑑み、スクールカウンセラー配置の現状は。</p> <p>(3) スクールカウンセラーを配置したことによって、子どもたちへの学習支援や指導がどのように変化しているか。</p> <p>(4) 地域に根差した特色ある教育を推進している小規模特認校の現状と成果は。</p> <p>(5) 子どもたちへのタブレット端末配付・活用に伴い、教職員の負担軽減につながっているか。</p> <p>(6) 小・中・義務教育学校の教職員の定数と実人数は。また、講師の人数は。</p> <p>(7) 近年、教職員の中途退職が多いと聞くが現状は。</p> <p>(8) 教職員の働き方改革の取組と成果は。</p> | 市長 教育長 所管部長 |
| 9 | 大石 慶明 3月4日(月) 16:15~ ※一問一答 | 1 全国都市緑化フェアについて | <p>令和8年秋の「第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波」の開催に向け、2市1町が連携し着実に準備を進められていると考える。開催に向けた準備状況について問う。</p> <p>(1) 亀岡市、南丹市、京丹波町での開催における事業テーマは。</p> <p>(2) 開催に向けた予算規模総額は。</p> <p>(3) 京都府及び2市1町の費用分担は。</p> <p>(4) 現時点における事業実現に向けた課題は。</p> | 市長 所管部長 |
| | | 2 地震対策の取組について | <p>本年の元日に発生した能登半島地震で石川県をはじめ北陸地方で甚大な被害が出ている。本市においても、このような地震災害が発生することを想定し、備えを十分にしておく必要がある。そこで地震対策について問う。</p> <p>(1) 公共施設の耐震化の状況について問う。</p> <p>①現在の耐震化率は。</p> <p>②施設別の耐震化の実施状況は。</p> <p>③耐震化未実施の施設に対する今後の取組は。</p> <p>(2) 本市で避難所に指定されている自治会館などを含む公民館施設で耐震化基準を満たしているのは93.3%と報道されている。</p> <p>①耐震化基準を満たしていない施設数は。</p> <p>②当該施設に対する取組は。</p> <p>(3) 亀岡市建築物耐震改修促進計画(平成29年3月策定)によると、住宅の耐震化率を平成38年度末(令和8年度末)までに95%とすることを目標としている。</p> | 市長 所管部長 |

| | | | | |
|----|--|---|---|------------|
| | | <p>①現在の耐震化率は。 ②目標達成の見込みは。 (4)木造住宅の耐震化改修については補助金が交付されていると理解しているが、その交付内容は。 (5)京都府では、今回の能登半島地震を受けて今年度木造住宅の耐震補修事業の補助拡充を図ったと聞いているが、本市も連動して補助を拡充するのか。 (6)地震による通電火災で輪島市の中心部の大半が焼失した。通電火災には地震発生に伴い電気を遮断する機能を有する「感震ブレーカー」が有効と聞く。地震による火災を防止する施策として感震ブレーカー設置補助金を創設すべきと考えるが所見は。</p> | | |
| | 3 ひとり親家庭のサポートについて | <p>厚生労働省の調査によると、ひとり親家庭(母子家庭)の平均年収は約200万円で、仕事をしているシングルマザーのうち正規雇用は44.2%と半分以上となっている。諸物価高騰により、これらの家庭への生活支援は待ったなしの状況と考える。 (1)生活保護世帯のうち、ひとり親家庭が占める割合は。 (2)ひとり親家庭からの生活相談件数・相談内容は。 (3)ひとり親家庭への支援実施状況は。 (4)本年度からヤングケアラー・コーディネーターを配置し実態調査をされているが、現状は。</p> | 市長 所管部長 | |
| | 4 市制70周年記念事業について | <p>本年度から市制70周年記念事業を検討されると理解しているが、市民と協働した事業実施に向けての考えを問う。 (1)現時点における事業実施のコンセプトは。 (2)平成23年に「国民文化祭・京都2011」が開催され亀岡の民俗芸能が出演し、大いに盛り上がったと聞く。市民の力で事業を盛り上げる意味でも、記念事業としてこのような取組ができないか。</p> | 市長 所管部長 | |
| 10 | <p>大塚 建彦 3月5日(火) 10:00~</p> <p>※一問一答</p> | <p>1 ゼロカーボン施策について</p> | <p>本市は「かめおか脱炭素宣言」に基づく2050年カーボンニュートラルの達成に向け、「かめおか脱炭素未来プラン」を策定した。令和5年9月には、「経済循環型ゼロカーボン亀岡」達成を実現するための試みとして民間提案制度を創設し、2事業を採用している。 (1)経済循環型ゼロカーボン亀岡の達成に向けた民間提案制度とは具体的にどのようなものか。 (2)採択された事業の一つである、年谷浄化センターエネルギー拠点化構想の内容は。 (3)現在稼働している消化ガス発電事業に加え</p> | 市長 所管部長 |

| | | | | |
|--|--|--|---|--|
| | | <p>2 使用済みおむつの資源化について</p> <p>3 学年チーム担任制について</p> <p>4 旭町山階区砂留堰堤工事等について</p> | <p>て、今回の提案により生じる発電規模、採算性は。</p> <p>(4) 今後、森林環境譲与税などを活用し、山林整備の一環として、伐採された間伐材や倒木、放置された木質廃材などを活用したバイオマス発電の実証実験を計画する考えはあるのか。</p> <p>本市は、子どもファースト宣言の一環として市内保育園・幼稚園・認定こども園で、おむつの提供、処理の無償化に取り組んでいる。国が、2030年度までに、使用済み紙おむつの資源化に取り組む自治体を100自治体にすることを目標に掲げている中で、本市も令和6年度より、民間事業者と連携し、使用済み紙おむつ資源化を目指し、実証実験事業を行うことが決まった。</p> <p>(1) 実証実験の具体的な規模と内容は。</p> <p>(2) 素材ごとの分別、再資源化は先進的であるが、具体的な方法は。</p> <p>(3) 将来的に採算ベースに乗せるために、高齢者施設のおむつも収集し再資源化できないか。</p> <p>教育の現場では、教員不足の中で、多様化する子どもや家庭への対応や働き方改革の取組などを進めるため、公立小・中・義務教育学校で「学年チーム担任制」の導入が全国的に進んでいる。本市においても、一部の学校で導入を検討された経緯がある。</p> <p>(1) 「学年チーム担任制」とはどのような制度か。</p> <p>(2) 先行事例である神戸市や富山県南砺市での取組に対する本市の見解は。</p> <p>(3) 「学年チーム担任制」について、市内小・中・義務教育学校より導入要請がある場合の亀岡市教育委員会の対応は。</p> <p>(4) 長期休暇などにより年度当初の教員数が維持できない場合の具体的な対策は。</p> <p>旭町山階区「境川」砂留堰堤工事は、30年以上前からの要望活動の結果、令和元年以降順調に推移し、課題であった砂留堰堤本体部の、共同墓地移転調査も終了、住民合意も完了している。亀岡市の担当である下流域排水路の整備工事も令和5年11月20日に開始され、早期完成への期待が高まっている。</p> <p>(1) 砂留堰堤本体工事も含め、全体の完了に向けた今後の計画は。</p> <p>(2) 山階排水路の整備に伴い、排水路の側面に設置されている鳥獣被害防止柵の撤去が行われているが、資材の調達や再設置に対して援助できないか。</p> <p>(3) 北谷川では倒木撤去が予定されているが、</p> | <p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> |
|--|--|--|---|--|

| | | | | |
|----|---|---|---|---|
| | | 5 文化財の保存・継承について | <p>2018年9月台風21号の豪雨で崩落した、はた谷下流域の本郷地区には人家がある。人命優先の観点から、はた谷の倒木処理も並行して実施して欲しいが見解は。</p> <p>令和6年2月特別議会で亀岡市部設置条例の一部を改正する条例案等が可決され、「文化財の保護に関すること」及び文化資料館の管理運営の所管が、教育部から生涯学習部へ変更される。</p> <p>(1)文化財の保存・継承の今後の方向性は。</p> <p>(2)具体的に生涯学習部は文化財保護にどのように取り組むのか。</p> | 市長 所管部長 |
| 11 | 梅本 靖博 3月5日(火) 10:45~ ※一問一答 | <p>1 篠町東部地域総合的再整備について</p> <p>2 馬堀駅前交差点の安全対策について</p> <p>3 防災について</p> | <p>篠町東部地域における施設の総合的な再整備により、子育て世代から高齢者の皆さんが、より利用しやすく喜んでいただける環境整備について問う。</p> <p>(1)令和2年より使用していない東部市民プールの現状は。</p> <p>(2)東部文化センター・児童館・駐車場・野条公園の一体的な再整備計画の必要性について所見は。</p> <p>(3)野条公園周辺や東部文化センター・児童館利用における市道横断時の安全対策は。</p> <p>J R馬堀駅前の交差点については、市民より安全対策の相談が寄せられ、多くの議員も現場を訪れて確認しているが、当該交差点の安全対策を早期に進める必要があると考える。</p> <p>(1)当該交差点の安全性、特に車による横断歩道を利用する歩行者の妨害についての見解は。</p> <p>(2)昨年、亀岡警察署が毎月のように取り締まりを実施されていたが、そのことに対する見解は。</p> <p>(3)横断者注意喚起灯の設置の必要性についての見解は。</p> <p>ここ数年、台風・地震など甚大な自然災害が全国各地で発生している。本市においても、平成25年台風18号による桂川の氾濫で、市民生活に大きな影響が出た。災害には、備えてもそれだけで十分という到達点はないが、本市の防災に対する考えを問う。</p> <p>(1)どのような災害を想定して防災資器材を配備しているのか。</p> <p>(2)配備されている防災資器材の内容は、昨今の災害から鑑みて充実しているのか。</p> <p>(3)過去の災害から得た経験を本市の災害対策に取り入れた事例として、どのようなことが挙げられるか。</p> <p>(4)さらなる防災対策の見直しの必要性に対して、本市の見解は。</p> | <p>市長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> |

| | | | | |
|----|---|------------------|---|------------|
| | | 4 庁舎敷地内の安全対策について | <p>(5) 災害時における相互応援について、様々な取組が考えられるが所見は。</p> <p>庁舎に来られた市民の皆さんが駐車場を利用する際にロータリーを通るが、その途中に公用車専用駐車場の出入口がある。公用車の出入庫時における安全性について問う。</p> <p>(1) 公用車専用駐車場の出入口に設置されている出庫信号機は、見やすい位置に設置されているか。</p> <p>(2) 安全性向上を考慮し、出庫信号機の位置をドライバーから見やすい位置に変更してはどうか。また、出入口付近にゼブラゾーンの路面表記を行ってはどうか。</p> | 市長 所管部長 |
| 12 | 片山 輝夫 3月5日(火) 13:00~ ※一問一答 | 1 地域経済の活性化について | <p>働く人の賃金は1996年をピークに下がり続け、さらにこの間の物価高騰により、実質賃金が低迷し、個人消費も伸び悩んでいる。地域経済を上昇させるためにも、亀岡市として積極的な施策展開が求められている。</p> <p>(1) この30年間日本の労働者賃金が上がらなかった大きな理由として、労働基準に関する法制度の改悪による非正規雇用の増大があるが、市長はどのように認識しているのか。</p> <p>(2) 平成27年4月1日から運用している亀岡市の公契約要綱では、「この要綱については、今後、社会経済情勢に即応して、柔軟に、かつ、迅速に内容を見直していくこととしています。」と記載されている。厚生労働省の「建設雇用改善計画（第十次）」や東京都杉並区の公契約条例などを参考に、賃金下限条項入りの条例制定に踏み出すべきであると考えるが所見は。</p> <p>(3) 現要綱では公契約は市内事業者発注が原則とあるが、市内事業者への発注割合はどの程度か。</p> <p>(4) 下請負先を市内事業者にするための周知徹底はどのように行っているのか。</p> | 市長 所管部長 |
| | | 2 人工透析患者への支援について | <p>人工透析患者は週3回以上かかりつけの病院に通院し、約半日間の透析治療の後帰宅するという、体力的にも金銭的にも大きな負担を余儀なくされている。また家族は送迎等の支援がいつまでできるか将来に不安を抱えている。</p> <p>(1) 亀岡市内の透析患者数は把握しているのか。また患者数の過去5年間の推移は。</p> <p>(2) 京都中部総合医療センターへの通院は交通費が高く大変であると聞いている。市として通院に対する支援施策はあるのか。</p> <p>(3) 亀岡市内の病院への転院は、希望すれば可能な状況か。</p> <p>(4) 福祉有償運送サービスの必要性は依然として高い中、市として福祉有償運送の現状をど</p> | 市長 所管部長 |

| | | | | |
|----|----------------------------|--|--|---------------------------------------|
| | | <p>3 地域計画策定について</p> <p>4 開発公園の維持管理について</p> | <p>のように認識しているのか。また、今後どのような対応を検討しているのか。</p> <p>令和7年3月までに策定を予定している地域営農の未来予想図といわれる「地域計画」が農業委員会と地域の農業委員や農地利用最適化推進委員を中心に現在各地域で取り組まれている。</p> <p>(1) 地域農家に計画作成の周知徹底はどのように行ってきたのか。</p> <p>(2) 各地域における現時点での計画の話合いや目標地図作成の進捗状況は、どの程度だと認識しているのか。</p> <p>(3) 関係農家が多数であると、現況地図・目標地図・耕作者名一覧表等資料作成に多大な労力を要する。府・市所有の既存デジタル資料を活用するなど省力化できないのか。</p> <p>(4) 地域に担い手や後継者がいない場合、話合いをしてもどうにもならない現実と、今後この計画に基づき利用権設定の取組がなされることによる制約とのほざまで、現場はその対応に苦慮している。計画策定に向け、農業委員会や農林振興課はどのような助言や支援を考えているのか。</p> <p>亀岡市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例に基づき設置された開発公園は、市有財産でありながら、計画当初に事業者と地元区等とで締結された覚書に基づき、維持管理が行われている。</p> <p>(1) 地元区が公園の緑地化を求めて、覚書の変更を申し出た場合の、相手方当事者とは亀岡市になるのか。また、どのような手続きが必要になるのか。</p> <p>(2) 遊具等の修繕や撤去、樹木伐採等の財政負担が地元区財政を圧迫している現状がある。フェンス、ブロック塀、樹木等を管理範囲から除外する考えはないか。</p> <p>(3) 市内155か所の開発公園において、過去に人身事故や物損事故など保険適用になる事故が発生したことがあるのか。あるとすればどのような事例か。</p> <p>(4) 先般議会活動として、JR亀岡駅北周辺やギャラリーかめおかで街頭インタビューを実施したときに、子育て世代から「近所にこんな公園が欲しい」との要望を多く受けた。地域によって様々なニーズがある中、開発公園の管理の在り方について、地元管理団体との懇談の場を設定し、要望を聞き取り検証する考えはないか。</p> | <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> |
| 13 | 山本由美子 3月5日(火) 13:45~ | 1 乳幼児健診の拡充について | <p>乳幼児健診は病気など子どもの心身の異常の早期発見につながるだけではなく、保護者が育児の悩みを相談し、必要な支援に結びつけられ</p> | 市長 所管部長 |

| | | | | |
|--|--------------|---|---|---|
| | <p>※一問一答</p> | <p>2 認知症施策の充実について</p> <p>3 防災対策について</p> | <p>る機会となることから、一層の充実が望まれる。</p> <p>(1) 本市における乳幼児健診の取組状況は。</p> <p>(2) 現在多くの方が出産された医療機関で自己負担により1か月児健診を受診されているが、実施医療機関と本市との連携及び受診後の支援体制について現状は。</p> <p>(3) 本市の乳幼児健診として、1か月児健診を導入する考えは。</p> <p>(4) 3歳児健診(法定健診)以降、就学時健診まで健診がない。この間、5歳児健診に変わる本市の取組は。</p> <p>(5) 5歳児健診と事後相談体制(子育て相談、心理発達相談、教育相談)はパッケージと考えるが見解は。</p> <p>(6) 本市の乳幼児健診として、5歳児健診を導入する考えは。</p> <p>我が国では、2025年には65歳以上の5人に1人、約700万人が認知症に罹患すると推計されており、認知症の当事者やその家族が安心して暮らせる環境整備が喫緊の課題である。</p> <p>(1) 認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座及びステップアップ講座受講者のうちボランティア活動への参加意思があるボランティア登録者の状況は。</p> <p>(2) チームオレンジ構築に向けた取組の進捗状況は。</p> <p>(3) 認知症の方から就労や社会参加のニーズがあった場合、どのように対応されているのか。</p> <p>(4) 一人暮らしの認知症高齢者への対応が重要と考えるが、支援の現状と課題は。</p> <p>(5) 自治体による認知症高齢者等個人賠償責任保険事業を導入する考えは。</p> <p>(6) 軽度認知障害(MCI)を早期発見し、予防につなげる「あたまの健康チェック」を導入してはどうか。</p> <p>令和6年能登半島地震を踏まえ、頻発・激甚化している自然災害に備えた取組を進めていくことが重要である。</p> <p>(1) 受援計画策定の現状と今後の見通しは。</p> <p>(2) 罹災証明書を円滑に交付するため、住家被害の調査に必要な知識や技術などを習得し調査に携われる職員を育成してはどうか。</p> <p>(3) 災害時における避難所などでの子育て世帯の負担を軽減するため、液体ミルクや離乳食などの乳幼児向け備蓄物資を整備する考えは。</p> <p>(4) 自然災害が頻発する中、関心が高まっている防災士養成講座の現状と今後の取組は。</p> <p>(5) 防災に関する知識・技能を高め、災害時に適切な判断や行動ができる児童生徒を育成</p> | <p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p> |
|--|--------------|---|---|---|

| | | | | |
|----|---|--|---|---------------------------------------|
| | | | <p>する防災教育の実施について見解は。</p> <p>(6) 学校体育館への空調設備設置について見解は。</p> | |
| 14 | <p>小林 仁 3月5日(火) 14:45～</p> <p>※一問一答</p> | <p>1 脱炭素に関する施策について</p> <p>2 バイオマスの取組について</p> | <p>令和5年2月に策定された「かめおか脱炭素未来プラン」において、国が掲げる2050年にカーボンニュートラルを達成する目標に向けて本市も取組をスタートした。その取組について問う。</p> <p>(1) 環境に優しい生活を市民に送ってもらうために「家庭版環境ISO」を導入し、取り組む家庭を募って市が認証してはどうか。</p> <p>(2) 生ごみから資源を生成する地域循環型バイオガスシステムについて、経済循環型ゼロカーボン亀岡の達成に向けた民間提案で採用となった「年谷浄化センターエネルギー拠点化構想」の効果について所見は。</p> <p>(3) 同じく採用となった「EV車普及促進への貢献を目指したEV充電インフラ拡充」の効果について所見は。</p> <p>(4) 「かめおか脱炭素未来プラン」の再エネ導入目標における太陽光発電について、特に土地系の比重が大きく、家屋系による達成の可能性が低いためのしわ寄せではないかと考えるが、所見は。</p> <p>(5) 吸収源・オフセット対策として、成長が速くCO2吸収量が多い早生桐の植林とカーボンクレジットの導入を組み合わせることによる効果が高いと考えるが、所見は。</p> <p>循環型社会の構築や脱炭素の実現に向けて、エネルギーの地産地消や再生可能エネルギーの活用による域内経済の活性化が推進される中で、化石燃料エネルギーの輸入は私たちにとって何の利益ももたらさず、域内からお金が消えていると考える。そこで、バイオマス、特に木質バイオマスのエネルギー利用について問う。</p> <p>(1) 本市において、「打倒！化石燃料」の考えはあるのか。</p> <p>(2) 木質バイオマスエネルギーの利活用により、産業や雇用など市民の暮らしがどのように変わると考えるのか、所見は。</p> <p>(3) 本市で木質バイオマス産業が創出された場合、当該事業者に対する支援策について所見は。</p> <p>(4) 木質バイオマスボイラーを庁舎の空調などに導入している自治体もあるが、本市においても導入を検討してはどうか。</p> <p>(5) 諸外国において、木質バイオマスボイラーを域内世帯で給湯・暖房に導入している地域もある。本市においても推進できないか、所見は。</p> <p>(6) 木質バイオマスの推進には森林の管理も重</p> | <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> |

| | | | | |
|----|--|---|--|--|
| | | <p>3 CLT木材の利用促進について</p> <p>4 地域防災について</p> <p>5 道路凍結防止材購入費補助について</p> | <p>要な事項であるが、どのような取組が有効と考えるのか、所見は。</p> <p>(7) エネルギーの地産地消を考え、木質バイオマス発電所を本市の全世帯数分を賄う規模で建設できないか。</p> <p>昨今脚光を浴びているCLT木材による産業創出及び利活用について問う。</p> <p>(1) CLT木材は木のぬくもりと耐震性を兼ね備えた素材であり、CLT木材を利用した建築物はいつまでも居たいと思わせるような心地よさがある。新資料館整備においてぜひとも導入すべきと考えるが所見は。</p> <p>(2) CLT木材の利用促進は脱炭素にも貢献し、林業・木材産業の活性化や新たな産業の創出につながると考えるが、所見は。</p> <p>本市における地域防災の取組として、消防団・各地区の自主防災会が組織編制や訓練を行っている。その活動の広報について問う。</p> <p>(1) 区単位など小さな区域で行われる防災訓練で、この取組を知ってもらい横展開すれば効果があるのではないかと思わせるものがある。そういった取組を周知することで自助・共助につなげてはどうか。</p> <p>認定外道路凍結防止剤購入費補助金の交付時期について問う。</p> <p>(1) 毎年自治会に購入申請書が配布されるが、令和5年度は11月に申請書が配布され、凍結剤支給は翌年2月との返答であった。支給時期が遅いと考えるが、所見は。</p> | <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> |
| 15 | <p>齊藤 一義 3月5日(火) 15:30~</p> <p>※一問一答</p> | <p>1 持続可能なまちづくりについて</p> | <p>令和6年度当初予算(案)の概要「人と時代を選ばれるリーディングシティ亀岡」5つの重点事業について問う。「子育てしたい、住み続けたいまちへ」について、「高校生まなび応援事業の推進」は反対ではないが、福岡県那珂川市にある福岡女子商業高等学校の教育方針を参考にソフト面の充実が重要と考える。</p> <p>(1) 何のために学ぶのかを問い、「挑戦を楽しむ」ように、学校は失敗してよい場所づくりが必要ではないか。</p> <p>民間調査会社による「住みたい街」ランキング調査の第一条件は交通の便である。</p> <p>(2) 本市から北大阪急行電鉄箕面萱野駅へのアクセス整備を具体的に検討してはどうか。</p> <p>京都縦貫自動車道がNEXCO西日本に移管され、インターチェンジ設置に向けた作業が進んでいる。</p> <p>(3) 篠インターチェンジ、亀岡インターチェンジ、大井インターチェンジ、千代川インターチェンジの通行料金は今後どうなるのか。</p> | <p>市長 教育長 所管部長</p> |

| | | | | |
|----|---|---------------|--|------------|
| | | | <p>京都府下からも移住者が多い滋賀県で、住みたい街5年連続ナンバー1の草津市を例に都市計画規制見直しをされてはと考える。</p> <p>(4) 移住定住を呼び込むためには、住みやすいまちを大規模で一体的に整備することが必要であると考え。小規模な開発ではなく、大規模で面的な開発を促すことができる仕組みを検討してはどうか。</p> <p>(5) 前述の大規模な開発を行う地域に川東地域なども含めて計画してはどうか。</p> <p>(6) 亀岡駅北土地区画整理事業地域における駐車場の附置義務を緩和してはどうか。</p> <p>(7) 「犬と暮らしやすいまち」を推進するため、犬のマイクロチップ装着に対し補助金を導入してはどうか。</p> <p>「スポーツ、歴史・文化、観光の魅力で産業が輝くまちへ」について問う。</p> <p>(8) 来る4月21日、サンガスタジアムにフェラーリが集まると聞いているが、今後、保津川下りとコラボして魅力向上につなげてはどうか。</p> <p>「世界に誇れる環境先進都市へ」について問う。</p> <p>(9) 剪定枝や生ごみを再生可能で利活用できる肥料にする設備の導入を検討してはどうか。</p> <p>「だれもが安心して暮らせる防災・減災、セーフコミュニティ、多文化共生のまちへ」について問う。</p> <p>(10) 市道春日部南条線と府道東掛小林線の新設横断歩道に信号機を設置する予定は。</p> <p>(11) JR並河駅南側踏切の歩道設置は、府道王子並河線とは別に、北西側民家駐車場を活用し、現府道踏切の北側に新たな歩道踏切を設置してはどうか。</p> <p>「次代をリードする新産業を創出するまちへ」について問う。</p> <p>(12) 京都府が進める「ZET-valley構想」における脱炭素社会への技術革新に、本市としても企業誘致等、連携を図ってはどうか。</p> | |
| | | 2 市庁舎内の連携について | <p>新型コロナウイルス感染症も5類になり地域行事が戻ってきたが、4期13年公務に携わる中で、行事まで1か月を切った時期の案内や、日時が重なっている事案がある。</p> <p>(1) 年度初めに年度すべての予定を出し合い調整してはどうか。</p> | 市長 所管部長 |
| 16 | 山木 裕也 3月5日(火) 16:30~ ※一問一答 | 1 自治会離れについて | <p>自治会は、防災や生活環境の維持などにおいて、極めて重要な位置づけで地域社会を支えてきた一方、少子高齢化の近年では、役員の担い手不足などの問題を抱えている。問題解決のために、市と自治会が協力したモデルとなる自治会運営</p> | 市長 所管部長 |

| | | | | |
|----|-----------------|--------------------|---|------------|
| | | | <p>を推進することについて問う。</p> <p>(1) 現在の自治会加入率は。</p> <p>(2) 自治会加入者の退会状況を把握しているか。</p> <p>(3) 自治会の加入促進に向けた取り組みは。</p> <p>(4) 子ども自治会を発足させ、自治会の運営に参加して貰ってはどうか。</p> <p>(5) 回覧板を電子化し、LINEなどを活用した情報伝達方法を導入整備してはどうか。</p> <p>(6) 環境先進都市の本市として、役員等の引継ぎ書類等のペーパーレス化を推奨しては。</p> <p>(7) 自治会費について、コンビニ決済や電子決済の導入を自治会に推奨しては。</p> <p>(8) 地域の運動会を子どもからお年寄りまで楽しめる地域フェスティバルに変更し、市から助成してはどうか。</p> | |
| | | 2 中学校部活顧問の負担軽減について | <p>昨今、働き方改革等で在り方が問われている中学校の部活顧問について問う。</p> <p>(1) 現在の部活顧問の就労状況は。</p> <p>(2) 教職員の労働環境を変える対策は。</p> <p>(3) 教職員の労働環境を変えるため、週1回、非常勤講師にフィジカルトレーニングを指導してもらい部活を任せてはどうか。</p> | 教育長 |
| | | 3 かめおか児童クラブの施設について | <p>放課後児童クラブは、共働き世帯の増加により需要が高まっている。また、『小1の壁』問題への対応も必要となる。子どもファースト宣言をしている本市であるからこそ、さらなる拡充策を問う。</p> <p>(1) かめおか児童クラブの専用区画の基準は。</p> <p>(2) かめおか児童クラブの各施設、特につつじヶ丘小学校のトイレ等水回りの改修予定は。</p> | 教育長 |
| | | 4 西つつじヶ丘のバス延伸について | <p>西つつじヶ丘自治会から長年要望されてきた美山台へのコミュニティバス延伸について、市道つつじヶ丘87号線の勾配箇所の道路補修工事も完了し、無事試験運行できた。</p> <p>(1) コミュニティバスの本格運用に向けての現在の進捗状況は。</p> | 市長 所管部長 |
| | | 5 西つつじヶ丘での落石について | <p>先日、西つつじヶ丘美山台2丁目で法面から市道に落石が発生した。</p> <p>(1) 今後の対応は。</p> | 市長 所管部長 |
| | | 6 亀岡駅北広場の整備について | <p>かめおかe c oマルシェでは、出店者の増加に伴い出店時に使用する電源口が不足している。</p> <p>(1) 電源増設の考えは。</p> <p>(2) 水飲み場及び給排水設備を設置してはどうか。</p> | 市長 所管部長 |
| 17 | 三上 泉 3月6日(水) | 1 大地震に備えたまちづくり | 令和6年1月1日の能登半島地震は、津波による被害も大きかったが、集落を結ぶ唯一の道路の | 市長 所管部長 |

| | | | |
|----------------------------|---------------------------------------|--|----------------------------|
| <p>10:00～</p> <p>※一問一答</p> | <p>について</p> <p>2 子どもファーストの具体化について</p> | <p>寸断など、中山間地ゆえの出動・救助の困難が多々あったと伝えられている。また、市内にはハザードマップで示されている避難所でも地震の際は避難所として使用できない施設が少なからずある。</p> <p>(1)地震に対する市道など道路の耐久性などを総点検し、必要なところは強靱化を図るべきではないか。</p> <p>(2)地震でも使用できる避難所となるよう、該当施設の耐震化補強や建て替えなどを急速に実施できるよう、市としても支援すべきではないか。</p> <p>一昨年に宣言した「子どもファースト」の施策の具体化が進んでいる。その内容は子育て世代・世帯を応援する内容が主である。子ども目線で、子どもの立場で、子どもを主人公にした取組が求められることを、これまでの議会でも取り上げてきた。とりわけ、子どもの権利条例に基づく施策についての検討は急務だと考える。</p> <p>(1)子どもファーストと子どもの権利条例を関連づけた、子どもの権利条例の具体化の取組が必要と考えるが、子どもファーストが宣言されてから、2度の「子どもの権利の日」にどのような取組がなされたのか。</p> <p>(2)子どもの権利の中で、意見を表明し、自己決定できる権利については、なかなか具体化がされずにいる。子どもの個性や多様性が認められる環境づくりという点で、学校教育においてどのような考えをもっているのか。</p> <p>子どもが健やかに成長できる環境の確保という点で、子どもの持つ豊かな感受性に基づく新たな配慮が必要である。</p> <p>(3)校舎・教室、プールを含む屋内外運動場などの環境改善について、大人には感じられない周波数の音の発生、香り・匂いによる健康被害、水泳指導における心身の健康被害などを調査すべきではないか。</p> <p>多忙を極める学校においては、コロナ禍でなくなっても教育に支障がなかったものを、わざわざ復活させる必要がないと考える。</p> <p>(4)中学校の部活も地域移行が進められようとしている中、小学校の陸上記録会、駅伝大会、自転車大会などは見直すべきではないか。</p> <p>(5)儀式的学校行事への来賓出席は、必要最小限にとどめ、もうなくしてもよいのではないか。</p> <p>子どもにとって、最も大切な環境は、学校・幼稚園では教員、保育所では保育士そのものであると考える。人員不足、長時間過密勤務による心身の健康破壊、子どもとゆっくり触れ合う時間の喪失などは、子どもの健やかな成長にとっても多大な影響を及ぼす。</p> | <p>市長 教育長 所管部長</p> |
|----------------------------|---------------------------------------|--|----------------------------|

| | | | | |
|----|--|------------------------|--|--------------------|
| | | <p>3 地域公共交通の課題について</p> | <p>(6) 小・中学校の定数に教職員が足りていないという報告を受けているが、来年度の見通しは。</p> <p>(7) 現場で働く人たちの声をしっかりと聞き取って、時間外勤務の縮減に向けた新たな対応策を検討する決意は。</p> <p>令和5年度に計画期間が終了する現行計画を見直した、「亀岡市地域公共交通計画」(案)が示されて、先月末まで市民からのパブリックコメントを受けてきた。本議会でも、住民の移動する権利は、生存権の一部といっても過言ではないと訴えてきた。移動権を保障する立場に立とうとしている計画なのか、その本気度について改めて問う。</p> <p>(1) 直接市の管轄ではないにしろ、JR嵯峨野線、京阪京都交通バスの減便問題などが、住民の移動の権利を脅かし、改善を求める声が多く出されている。これらも市民を取り巻く公共交通の環境変化であるが、計画(案)の中で、これらに言及されていないのはなぜか。</p> <p>(2) そもそも地域主体型交通は、担い手づくりや持続可能性の観点からも、公共交通と言い切れるのか。</p> <p>(3) 公共交通計画の策定と具体的施策の検討について次の点で問う。</p> <p>① 住民の移動の権利を保障する立場に立ったものにすべきではないか。</p> <p>② 交通空白地を解消することに市が責任を負うべきではないか。</p> <p>③ 車を手放し免許も返納した方、何らかの理由で家族の送迎が難しい方への、敬老、福祉の利用券購入数増、一部補助などの緊急対策も必要ではないか。</p> <p>(4) 上記を踏まえて、一つ提案をするので所見を求める。民間交通事業者との協力を継続しつつ、大型ワゴン車両などで市内各所をくまなく巡回する市営交通を立ち上げてはどうか。</p> | <p>市長 所管部長</p> |
| 18 | <p>法貴 隆司 3月6日(水) 10:45~</p> <p>※一問一答</p> | <p>1 防災対策について</p> | <p>防災対策は、災害が発生した際に被害を最小限に抑え、人々の生命、財産、社会インフラの保護を図るために必要不可欠である。</p> <p>(1) 防災DXの推進状況は。</p> <p>(2) 本市における災害に備えた水や食料、生活必需品、毛布、医療品等の備蓄状況は。</p> <p>(3) 亀岡市防災フェスタ2024(仮称)の実施時期と内容は。</p> <p>(4) 大規模災害時には多様な避難所を確保する必要がある。災害関連死を防ぐため、2次避難所として市内の旅館やホテルと災害時における宿泊施設の提供等に関する協定を締</p> | <p>市長 所管部長</p> |

| | | | | |
|----|--|-----------------|---|------------|
| | | | <p>結しては。</p> <p>(5)本市において指定避難所での生活が困難な避難者が避難生活を送ることができるように市内の福祉施設において福祉避難所を指定しているが、福祉避難所が地震で損壊し使用できなくなったときの備えは。</p> <p>(6)避難行動要支援者名簿を各地域の消防団に提供してはどうか。</p> <p>(7)個別避難計画作成の進捗は。</p> <p>(8)地震版ハザードマップの更新予定は。</p> <p>(9)本市在住の防災士の人数は。</p> <p>地域防災の中核的存在である消防団員の確保が各地域において非常に厳しい状況である。</p> <p>(10)学生消防団活動認証制度を活用しないのか。</p> <p>(11)大学と連携し、学園祭に消防団員募集PRブースを設けてはどうか。</p> <p>(12)国の補助金を活用し、消防団員にドローンの操作講習会や訓練を行い、情報収集部隊としてドローン隊を編成してはどうか。</p> | |
| | | 2 空き家問題について | <p>空家等対策の推進に関する特別措置法の改正法が令和5年6月に公布、同年12月に施行され、空家等管理活用支援法人に関わる制度が創設された。</p> <p>(1)空家等管理活用支援法人の指定は行うのか。</p> | 市長 所管部長 |
| | | 3 通学路の安全対策について | <p>子どもの命を守るため、通学路の安全確保は必要不可欠である。曾我部町の市道春日部南条線は、改良工事に伴い横断歩道、横断者注意喚起灯が設置され、通学路として利用している。</p> <p>(1)設置された横断者注意喚起灯の手前に看板を設置されたが、ドライバーの認知不足もあり停車しない車両が多いことを鑑み、インパクトのある大きな目立つ看板は設置できないか。</p> <p>(2)今後、市内通学路の危険個所に横断者注意喚起灯を設置する予定は。</p> | 市長 所管部長 |
| | | 4 鳥獣害問題について | <p>鳥獣被害は営農意欲の減退、耕作放棄地の増加をもたらし、農業に深刻な影響を与えている。</p> <p>(1)有害鳥獣の捕獲に箱わなは許可できないのか。</p> <p>(2)有害鳥獣捕獲に対して猟友会に大型箱わなの貸出しはできないのか。</p> | 市長 所管部長 |
| 19 | <p>原野実生子 3月6日(水) 13:00~</p> <p>※一問一答</p> | 1 透析患者の送迎支援について | <p>透析患者を支える家族や市民から、病院までの交通手段に困っているという声を聞く。</p> <p>(1)亀岡市民が透析のために通っている市内の医療機関と利用者数は。</p> <p>(2)現在、通院に対する支援はあるのか。</p> <p>(3)近隣市町の状況は把握しているのか。</p> | 市長 所管部長 |

| | | | | |
|----|--|--|---|---|
| | | <p>2 乳幼児を連れた避難について</p> <p>3 市立病院事業について</p> | <p>(4)今後、送迎に対する支援などを行う考えは。</p> <p>災害時に乳幼児を連れて避難された方への対応について問う。</p> <p>(1) 緊急時に持ち出す非常袋の中に、防災ハンドブックを入れるよう啓発しているのか。</p> <p>(2) 防災ハンドブックに沿って、避難所に備品を揃えているのか。</p> <p>(3) 山間部など、道が寸断され孤立する可能性がある地域に、液体ミルクなどを備蓄できているのか。</p> <p>(4) かめおか子ども・子育てハンドブックの中で、「災害時の授乳」の欄を削除した理由は。</p> <p>(5) 「災害時の授乳」の欄を再度掲載する予定は。</p> <p>市立病院の経営について問う。</p> <p>(1) 亀岡市立病院経営強化プラン（案）では、令和6年度から3年間、赤字が続く予想であるが要因は何か。</p> <p>(2) 病床稼働率は令和6年度から4年間も80%以上としているが、その根拠は。</p> <p>(3) 救急搬送の応需率が、40～50%となっていた原因と今後の対策は。</p> <p>(4) 医師の配置は十分なのか。</p> <p>(5) 医師の確保について今後の対策は。</p> | <p>市長 所管部長</p> <p>市長 病院事業管理者 所管部長</p> |
| 20 | <p>西口 純生 3月6日(水) 13:45～</p> <p>※一問一答</p> | <p>1 市長の政治姿勢について</p> | <p>亀岡新時代に向け、「変革と決断」という言葉を使い政策提案してきたが、次の変革として「市職員の働き方改革」に焦点を当て、有能な職員の確保に努めていかなければならない。</p> <p>(1) 静岡労働局が推進する働き方改革の取組として、働き方改革特設サイトが公開されており、働き方改革推進センターによる支援、テレワークの有効活用、副業・兼業の普及促進や魅力ある職場づくりに向けた好事例など、様々な情報が掲載されている。静岡県では、仕事に「働きがい」を生活に「生きがい」を感じられる組織風土の実現など、先進的な取組がホームページなどに公開されているが、亀岡市としての所見は。</p> <p>(2) 特に週休3日制の取組に目を奪われたが、この制度について、市長の見解は。</p> <p>亀岡市は、1年後に市制70周年を迎える。保津川開削も慶長11年に開削されて420年、亀岡三大観光の保津川下りに貢献された角倉了以翁が外国との交易を始めて470年となる。主に安南国（今のベトナム）と交易されてきたが、相手国と現在も友好関係にあるのは、了以翁の功績が、今なお残っているからであるといえる。</p> <p>(3) 角倉家本家に尋ねると、了以翁は、特に当時のトンキン（今のハノイ）との交易が主体であったと伝えられており、角倉宗家17代</p> | <p>市長</p> |

| | | | | |
|--|--|-----------------------|--|--------------------|
| | | <p>2 人口減少歯止め策について</p> | <p>目当主は、今後、亀岡市が国際的に交流するのであれば、この町が望ましいのではないかと進言されていた。私は、市政70周年と保津川開削した了以翁の大きな功績を鑑み、姉妹都市もしくは友好都市に選定していただき、これまでの歴史も踏まえ、さらに深い交流ができるよう検討していただきたいと思いますと思うがどうか。</p> <p>(4) 了以翁の相手国に対する配慮を重視する精神が、両国の親交をさらに深めていくことにつながっていった。了以翁が積み重ねた功績によって、今も相手国は日本人に対し好感を抱いていただいております、こちらの申し出を迎えてくれるお国柄であるため、ぜひ一考して決断していただきたいと思いますと思うがどうか。</p> <p>全国的に問題となっている人口減少について、亀岡市においても何とか食い止めなければならない。</p> <p>(1) 亀岡市では、流入人口が増えていると聞きますが、2023年の全国移住ランキング調査では、1位は静岡県、17位は京都府となっている。静岡県は3年連続1位であるが、その要因は何か。</p> <p>(2) 利便性で比較すると亀岡市と静岡県は近い環境にある。北陸新幹線の路線が変更され、新京都駅の誘致につながれば、亀岡市のランキングはさらに上がると考えるが所見は。</p> <p>(3) 北陸新幹線の京都駅ルートは、地下水問題で難航しており、厳しい状況であるが、ルートを変更する余地はあるのか。</p> <p>(4) 難航している北陸新幹線の新大阪延伸計画の状況を見ると亀岡ルートの新駅設置が期待できるように感じるがどうか。</p> | <p>市長 所管部長</p> |
| | | <p>3 防災・減災について</p> | <p>能登半島地震を受け、亀岡市の防災・減災対策を考えるためには、被災者の声を反映した対策も講じていく必要があると考える。市民の生命・財産を守るために市長の見解を問う。</p> <p>(1) 能登半島地震は、半年前に能登半島周辺で大きな地震が発生すると断言し、悪しくも見事に的中された方がいる。この方いわく、次は四国、その次は日本列島中心部周辺、その次に京都府亀岡市周辺と予告されている。この情報は認識されているか。</p> <p>(2) 能登半島は、半島という地理上、交通網が寸断されやすく、救援物資が届かない。亀岡市も山で囲まれているため境遇は類似しているが、地域全体に代替となる道路は考えているのか。</p> <p>(3) 能登半島地震で、T・K・B・B・Wという言葉が使われている。これは、トイレ・食事・寝床・風呂・寒さ（季節）の対応につい</p> | <p>市長 所管部長</p> |

| | | | | |
|----|--|--|--|---|
| | | | <p>てのキーワードである。亀岡市はいち早くトイトレラーを出動し、今も能登半島で大活躍しているが、本市ではT・K・B・B・Wの準備ができているのか。</p> <p>(4) 能登半島地震を予見された方が、後に大きな地震が発生する場所として、亀岡市を挙げている。亀岡市内では、この2月14日と15日の2日間で連続して地震が発生した。いつ発生するか分からないのが地震である。ダブルルート、迂回路、代替道路などの整備についてどのように考えているのか。</p> | |
| 21 | <p>福井 英昭 3月6日(水) 14:45～</p> <p>※一問一答</p> | <p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 ふるさと納税制度について</p> <p>3 上下水道管の現状について</p> | <p>公共交通施策についても、3期目のマニフェストにしっかりと盛り込まれ、市民の移動権の確保に取り組んでいただいていると認識している。そんな中、いまだ確定ではないが、政府がタクシー会社を通して、「ライドシェア」を取り入れるとの考えがあり、これについて市長の現時点での考え方を問う。</p> <p>(1) 市長が認識されている「ライドシェア」とは、どのようなものか。</p> <p>(2) 本市に「ライドシェア」は有効だと考えるか。</p> <p>(3) どのような法律となるかは分からないが、地域性や実情を反映した制度になるべきと考えており、その所見は。</p> <p>本市では、ふるさと納税に努力に努力を重ねていただき、本年度は最終的に40億円を超える寄附をいただける見込みとなっている。また、市の施策の自由度を担保しているのは、ほぼ、ふるさと納税が原資だとも言える。また、市民福祉に不可欠なものでさえも、少なからず、ふるさと納税に頼らざるを得ない部分もあり、心配がないとは言えないが、実際、亀岡市の財政を支えている大切な財源である。</p> <p>(1) ふるさと納税の取扱いについて、昨年、国から若干の制度変更があったと思うが、その内容は。</p> <p>(2) その変更に伴う影響は。</p> <p>(3) 変更や影響についての対策は。</p> <p>(4) 今のところ、今後のふるさと納税制度は、過去数年と同様と考えてよいのか。</p> <p>令和6年能登半島地震では、ライフラインに大被害があったが、上下水道の現状について問う。</p> <p>(1) 本市の上下水道管の耐震化率は。</p> <p>(2) 主要管路における耐震化率は。</p> <p>(3) 上下水道施設の耐震化は。</p> <p>(4) 耐震化された管路について、直下型地震が起こった場合、どのくらいの震度まで耐えられる基準となっているのか。</p> <p>(5)本市の場合、上水道の系統は幾つあるのか。</p> | <p>市長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> |

| | | | | |
|----|---|------------------|--|-------------------|
| | | 4 交通安全施策について | <p>(6) 能登半島地震のように、上下水道管が破壊された場合、その復旧のため、他自治体の応援をいただくことになるが、そのためのマニュアルなどはあるのか。</p> <p>道路交通法では「横断歩道脇で人が横断しようとしている場合は、車両は停車しなければならない」と規定されている。警察では「横断歩道停車」の啓発を行っている。</p> <p>(1) 本市もしくは京都府内の横断歩道での停車率は。</p> <p>(2) 現在、市立学校において、横断歩道についての教育は行っているのか。</p> <p>(3) 市立学校では、一旦車両を止めるのは危険として「横断合図をしない」と教えてきた期間があると聞いているが、その期間は。</p> <p>(4) 横断歩道脇にて、横断の意志を示すため、歩行者は手を挙げるなどの意志表示をした場合、ただ立っているよりも、車両が停車する率が各段に上がるように感じるが、そのようなデータはないか。</p> <p>(5) 対面通行の道路や中央線のない狭小な道路の横断歩道を渡るとき、片側を走行する車両が止まったとしても、もう片側の車両が止まらない危険がある。つまり、大人も含め、社会全体で道路交通法の基準を理解しておかなければならず、広く周知する必要があると思うが所見は。</p> <p>自転車の乗車時にヘルメットの着用が努力義務になったことを受け、本市ではヘルメットの購入補助を実施している。</p> <p>(6) 補助の現状と見通しは。</p> <p>(7) さらに施策を進めていくつもりか。</p> <p>電動キックボードが、免許なしで公道を走ることができるようになった。</p> <p>(8) 本市で実際に公道を走行している例があるのか。</p> <p>(9) 法律上、止めることはできないものの、非常に危険だと認識するが所見は。</p> | 市長 教育長 所管部長 |
| 22 | 松山 雅行 3月6日(水) 15:30~ ※一問一答 | 1 川の駅・亀岡水辺公園について | <p>川の駅・亀岡水辺公園については、スタジアムを核としたにぎわいづくりの一環として京都府が整備し、その後本市へ無償貸与された施設である。令和4年4月からは現指定管理者によって管理・運営されているが、これまでの施設運営と今後の在り方について問う。</p> <p>(1) 本施設をどのように市民福祉の増進につなげているのか。</p> <p>(2) 夜間におけるキャンプ利用を可能とする案があるが、その経緯は。</p> <p>(3) 施設利用者や近隣住民への対策は。</p> <p>(4) 地元自治会との協議状況は。</p> <p>(5) 今後、本施設を基軸として、対岸側も含む</p> | 市長 所管部長 |

| | | | | |
|--|-------------------|---|----------------------------------|--|
| | | | <p>一体的な活性化ビジョンをどのように考えているのか。</p> | |
| | 2 大阪府北摂地域との連携について | <p>大阪府北摂地域の自治体との連携については、市長の英断と行動力により、多様な分野で着実に進んでいる。災害・観光・物流・産業面においてさらに連携強化し、機能していくことが必要であると考えるが、今後の展開について問う。</p> <p>(1) 災害時相互応援協定を締結している近隣自治体との合同防災訓練に向けた協議の進捗は。</p> <p>(2) 2025年の大阪・関西万博、2026年の全国都市緑化フェアなどを見据え、本市交流人口を増やすためにも、大阪府北摂地域の自治体等と広域な観光連携について協議していく考えは。</p> | <p>市長</p> | |
| | 3 企業誘致施策等について | <p>京都府下において、京都市内にスタートアップ企業が集中してきたが、本市も立地面や交通面で引けを取ることなく選んでいただける環境があり、官民連携の強化で持続可能なまちづくりにつないでいけると確信している。そこで今後の企業誘致等の施策について問う。</p> <p>(1) 現在の本市の法人事業所数は。</p> <p>(2) スタートアップとして本市で企業が会社設立・新規事業を開始しやすい環境整備について、国家戦略特区を活用し時限的に税制等を優遇・支援していく考えは。</p> <p>(3) JR亀岡駅をはじめとする駅周辺エリアなどにおいて、デジタルファースト・DX推進により、一帯的に仕事や行政手続きができる環境整備が必要と考えるが所見は。</p> | <p>市長 所管部長</p> | |
| | 4 子どもの貧困対策について | <p>本市では、子どもファースト施策の一つとして、子どもたちの居場所づくりに鋭意取り組んでいる。次代を担う子どもたちが、家庭の経済状況や生まれ育った環境に左右されることなく、明るい将来を目指せる環境を整えることが大切であると考える。</p> <p>(1) 他市町村でも実施されている、学習塾や習い事等への支援事業についての見解は。</p> | <p>市長 所管部長</p> | |